

尼崎市総合計画審議会第3回市民部会を開催しました

日時：令和2年12月3日（木）18時30分～20時30分 場所：尼崎市役所 議会棟2階 議員総会室

～次第～

- 1 開会
- 2 「尼崎らしさ」（良い点・悪い点）のまとめ ～ワークショップ形式～
- 3 まちの将来について～ワークショップ形式～
- 4 閉会



■ 市民部会開催の趣旨 ■

本市のまちづくりの方向性を示す第5次尼崎市総合計画は、2022年度までの計画であり、現在、2023年度からを計画年度とする第6次尼崎市総合計画の策定に着手しています。

この度、都市の将来像やまちづくりの進め方などを定める「まちづくり構想」の策定にあたり、学識経験者の部会長と市民委員で組織する市民部会（7名）を立ち上げ、「尼崎らしさ」などについて議論を行うこととしています。

1 内容（第3回）

第3回目は、これまで出た「尼崎らしさ」（良い点・悪い点）について、2つのグループに分かれてまとめを行い、それぞれのグループの意見を全体で共有した。

その後、「尼崎らしさ」を踏まえ、将来どのようなまちであってほしいかという視点で、「まちの将来像」について意見を出し合い、全体で共有したうえでカテゴライズを行った。

2 意見概要（「尼崎らしさ」）

	意見	
尼崎らしさ 【良い点】 （誇り）	・ 便利で暮らしやすい（職住近接） ・ 便利だから自分の時間が作れる ・ 自転車ですべて行ける ・ 治安・マナーが向上 ・ 暮らし方が選べる ・ 個性的な人が多い ・ 人情味がある ・ 自虐的な人が多い ・ 笑いに変えられる ・ 下町気質 ・ 好きなように ・ ギャップが生まれる（住む前後でイメージが向上） ・ 多様性があり、それを受け入れる土壌がある	・ チャレンジできるまち ・ 市民活動が盛ん、でもまだ一部 ・ 学びの環境が整っている ・ 中小企業が多い ・ 自然が豊か（21世紀の森づくり） ・ 環境意識が高い ・ 歴史がある ・ まちに資源が多い ・ まちに愛着をもっている ・ イベントが多い

	意見
尼崎らしさ 【悪い点】 (課題)	・ まちのイメージが悪い ・ 交通ルールが守れていない ・ 悪いニュースが多い ・ マナーが悪い ・ ポイ捨て ・ 歩きたばこ ・ 発信力不足 ・ 都市部の課題の広がりが速い ・ 扶助費が大きい ・ 災害に弱い（洪水の危険性が高い） ・ 商店街が多いがさびれている ・ ゆるさ（なあなあ）

3 意見概要（「まちの将来像」）

意見	
学びと活動が循環するまち ・ 学びを活かすしかないまち ・ イベントも学びも楽しむまち ・ 学びが実感できるまち ・ 様々な家庭環境でも子どもがみな夢を持てるまち（学び、経験、応援してくれる地域の大人、応援する制度など） ・ 関西でも高い教育水準があり、スポーツ、芸術など子どもの興味にこたえられる選択肢があるまち ・ 自分らしくいきいきと輝けるまち ・ 勉強を教える人が多いまち Another SDG s (Sustainable Diversity Goodness) ・ グローバルシチズンの意識を持つ市民が多いまち ・ 多文化を尊重しあえるまち ・ 人々の多様性を受け入れられるまち ・ 垣根がないまち ・ 多様性を認めあい、笑顔が咲くまち ・ 他陽性（多様性） ・ 外国人も支えるまち ・ 自分にあった暮らし方ができるまち 自虐を交えた尼崎にしかない文化をもっているまち ・ おもしろいまち ・ ！（びっくり）なまち ・ 自ギャグ（自虐で笑いに変える） ・ 尼崎市民体操で有名なまち	まちに自然がとけこみ、一歩先の暮らし方を実現できるまち ・ SDG s 実践先進都市 ・ 環境、社会、経済の側面から持続的に発展していけるSDG s 先進都市 ・ 新しい一歩先の暮らし方を選べる・実現できるまち ・ 自分たちで環境をつくり、守るまち ・ 自然が生活の中にとけこんでいるまち ・ たんぼのあるorトンボのいる都会 ・ 自然豊かで環境の良いまち ・ 21世紀の森をはじめ、市域に新しい自然を創り出している、また、旧来の自然環境も保全されているまち ・ 安全が確保できる自転車レーンが整備され、安心して自転車が使えらるまち ・ 自転車優先ロード全市完備 ・ 高度150m以下でも家につくまち（将来的にドローンで移動することを想定している（ドローンは150mの高度規制がある）） 人とつながり気軽にあいさつできるまち ・ 道ですれ違うと挨拶ができる人と人のつながりがあるまち ・ 子どもが知らない人にもあいさつできるまち（地域の大人が地域のこどもの顔を知っている見守りがある） ・ 気軽に醤油がかりられるまち ・ お隣さんの名前がわかるまち

マネしたくなるまち

- ・大阪、神戸に次ぐ阪神間のリーダー的なまち（産業、教育、環境）
- ・Mid-Town（舵取り役）
- ・東阪神市（尼崎、伊丹、川西）

市民全員わがまち自慢ができるまち

- ・地域資源、歴史が引き継がれ、誇りが持てるまち
- ・多くの市民が尼らしさを語れる
- ・自分のまち（地域）に誇りや愛着を持ち、誰かに自慢したくなるようなまち
- ・ひとり1推しがあるまち
- ・歴史・文化・「尼のゆるさ」も含め市外からも受け入れられるまち
- ・まちの良さをきちんと発信できる（外にも内にも）

助けあって生きるまち（地域で育て見守り支え合うまち）

- ・子育て世代にやさしい安全・安心なまち
- ・ネットワーク（編みコミュニケーション）
- ・市民家族都市
- ・たすけあって生きるまち（シェアハウス、シェアワーク、おたがいさまのしくみ、寄付文化、チャリティリサイクルショップなど）
- ・気軽に頼れる人が多いまち
- ・みんなが思いやりを持ち支え合えるまち
- ・100人で育てるまち（地域の多くの人に関わって子育てができる）
- ・子どもも高齢者もみんなで見守るまち

災害の前後を意識し備えと復旧ができるまち

- ・災害（地震、津波等）が起きたとき、早く復旧できる体制が整備されているまち
- ・防災の意識が高く災害に強いまち

生きがいとやりがいを実感でき、居心地の良いまち

- ・年をとりたくなるまち
- ・老若男女参画協働都市
- ・高齢者の雇用があり生きがいを持って暮らしている
- ・市民みんなにたくさん居場所と役割があるまち

あらゆることに挑戦できてやりたいことを実現できる協力のしくみがあるまち

- ・挑戦できる風土があり失敗を受け入れる包容力のあるまち
- ・活動家が相当多いまち
- ・シチズンシップポートタウン（シチズンシップを船に例え、港（まち）に停泊している状態）
- ・様々な課題に対し市全体が「ジブンゴト」として捉え、解決に向けて手を取りあえるまち
- ・様々な課題を克服した経験を活かし力強く生きるまち
- ・チャレンジできるまち
- ・やりたいことを実現できるまち（チャレンジできるまち）
- ・協創都市
- ・オフェンシブなまち（積極的に物事に取組む意識をもつこと）
- ・市民△（参画）
- ・20代～40代の世帯が増えているまち（労働人口が多い）
- ・子育て世帯が定着しているまち
- ・花も実もあるまち（百実繚乱シティ）
- ・可能性を引き出しチャレンジできるまち
- ・YDC（やればできるシティ）

中小企業が生き残り、連携し、新しいイノベーションを起こし世界にインパクトを与えるようなプロジェクトが行われているまち

- ・中小企業が連携して大きな（夢のある）プロジェクトに取り組んでいるまち
- ・チャレンジし続ける企業と人がいるまち
- ・企業と地域が近いまち

シャッター商店街がなく、若者のアンテナショップが多く、近隣他都市から来る方が多い賑わいのあるまち

- ・商店街に若者のカルチャー拠点がある
- ・人々が行き交い活気のあるまち
- ・活気ある商店街がのこるまち

安全・安心を実感できるまち

- ・住んで安心と思えるまち
- ・ポイ捨てや不法投棄がなくきれいなまち
- ・安全・安心を誇れるまち
- ・パチンコ店などの娯楽施設が減少している
- ・ゆるさとマナーを兼ね備えたまち
- ・人々が秩序を重んじマナーの良いまち
- ・普通のことあたり前にできるまち

4 今後の予定

・第4回市民部会

(日時) 令和2年12月18日(金) 18時30分から約2時間程度

(場所) 尼崎市役所 議会棟2階 議員総会室

(内容) 将来像の実現、課題の解決に向けてできることを考える回

5 当日のようす

①



②



③



④



⑤



①「尼崎らしさ」のまとめのようす

②「尼崎らしさ」の一覧

③ワークショップのようす (1)

④ワークショップのようす (2)

⑤将来像の意見出しのようす